

佐藤病院オプトアウト

研究課題名	母体の体格指数と児の出生体重からの学び
研究の対象	2017年1月から2018年8月までに経膣で出産された母子の診療録を使用します。 (新生児の出生1時間後の血糖と分娩様式の関連；母性衛生・62(1)使用データ)
佐藤病院 研究責任者	病院長 佐藤 雄一 助産師 茂木 寿江
目 的	児の出生体重と母体の体格区分(BMI)に分けて比較し、望ましい妊娠中の体重管理について検討、さらに低出生体重児(2500g未満)や巨大児(4000g以上)の出生を予防することです。
方 法	過去の診療録から収集した児の出生体重と母体の体格を耐糖能が正常な妊婦と妊娠糖尿病と診断された妊婦の体格区分に分けて比較します。
研究に利用する 情報の項目	佐藤病院の診療録 1.妊産婦：初経産別、年齢、身長、非妊時体重・BMI、分娩時体重・BMI、体重増加量、合併症(妊娠糖尿病)の有無、分娩所要時間、分娩時出血量、分娩方法(器械分娩の有無)など。 2.新生児の出生時週数、出生体重、出生時の状況など。
医学・倫理的配 慮	本研究は、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針(令和3年文部科学省・厚生労働省・経済産業省告示第1号)」に基づき実施する後ろ向き観察研究であり、経膣で出産された患者様の過去の診療録のみを使用する調査です。 研究対象者の情報は、診療録から個人が特定できないように匿名化してから研究者と共有します。個人や家族の人権の侵害や、提供者への危険や不利益が及ばないようにいたします。研究成果を学会や学術論文で発表させていただくことはありますが、その際も、対象者のプライバシーを保護し、個人が特定できないようにいたします。 本研究は「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針」第8の6の規定に則り、患者様への個別の説明は行いませんが、本研究への参加を拒否したい患者様は、研究実施代表者にその旨を連絡することで、データの使用を中止できます。
期間	2023年11月1日(倫理委員会承認後)～2024年3月31日
研究成果から期待されること	児の出生体重と母体の体格区分の関係を知り、課題を明らかにして対策を立てることにより、今後妊娠中の方への食事や生活指導に役立てられます。
利益相反	本研究は特定企業からの資金援助はありません。
お問い合わせ先	佐藤病院 027-322-2243 (8:00～17:00の間にお問い合わせいたします)